



高齢者の交通事故を防ぎましょう！

高齢歩行者を守ろう編



高齢歩行者が被害に遭う交通事故を防ぐためには、高齢者の皆さんが自身の身体的機能の低下を理解し、気をつけるだけではなく、ドライバーの皆さんも高齢歩行者の特性を理解し、思いやりのある運転を心掛けることが大切です。

◇高齢歩行者の行動特性◇

走行車両の速度や距離感の判断を誤って行動する場合があります

判断力や視力の低下により、判断を誤ってしまい、「今のうちに渡ろう！」と無理な横断をする場合があります。

早朝・夜間に出歩く場合がある

昼間だけでなく、目覚めが早くなれば早朝、又は深夜に出歩く場合もあり、目立ちにくい色の服装を着用していることもあります。

車両の接近に気付かない場合があります

道路横断中、周囲を見ることなく足元や進行方向だけを注視していたり、聴力の衰えから車両の接近に気付かないこともあります



◇高齢者の行動特性を考えた安全運転のポイント◇



・動静に注意し、万が一に備えた運転をしましょう

道路脇に歩行者を見かけたら減速や一時停止をするなど、歩行者の動きに対応できる優しい運転を心掛けましょう。

・前方左右の視野を広げ、いち早く歩行者を発見しましょう

対向車線側の道路脇にも目を向けて、横断しそうな歩行者がないか確認しましょう。特に夜間はハイビームを活用し、歩行者を早期に発見しましょう。

ツイッターを運用しています。フォローお願いします！【石川県警察交通安全情報@IP_koutuu_anzen】



◇ 県警のウェブサイトにも掲載しています。(アドレス www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/)

◇ 毎月1日、15日(土・日・祝の場合、翌平日)に新情報を配信します。

